

# 一般質問通告表

令和5年第2回始良市議会定例会（6月20日）

3. 国生 卓	1. 防犯カメラの設置について	<p>始良市防犯カメラの管理及び運用に関する規則によると「市民等の権利及び利益の保護に配慮しつつ、発生した犯罪事実の捜査、行方不明事案の捜索並びに交通事故の原因究明に協力するため、防犯カメラにより収集した撮影画像の情報を捜査機関等に提供することについて定めることにより、犯罪等を未然防止し、市民等の日常生活の安全を確保することを目的とする」とのことである。</p> <p>そこで、以下のとおり問う。</p> <p>(1) 防犯カメラの設置は、警察のアドバイスをいただき、現在、各JR駅前及び学校などに31か所設置してあるが、設置場所の選定基準を問う。</p> <p>(2) 現在、市内小中学校及び幼稚園は26校あるが、そのうち9校に防犯カメラを設置している。</p> <p>最近、全国で不審者が学校に侵入する事件が発生しているが、残りの17校について防犯カメラの設置計画を問う。</p>	市長 教育長
	2. 日本遺産「蒲生籠」を活かした観光振興について	<p>日本遺産は、地域に点在する文化財を観光資源として捉え、その1つ1つの「点」を「線」でつなぎ、「面」として活用しながら発信することで、地域活性化を図ることを目的としている。</p> <p>蒲生地区では、この目的達成に向けて、認定を受ける前から地元有志の方々に「日本遺産蒲生籠プロジェクト」を組織され、これまで市のバックアップを受けながら、地域の活性化と本市に観光客を呼び込むための様々なプログラムやイベ</p>	市長 教育長

		<p>ントなどを企画し実践活動をしている。 そこで、以下について問う。</p> <p>(1) 日本遺産「蒲生麓」プロジェクトの活動において、これまで実践されてきたイベントの内容及び実績を把握しているか。</p> <p>また、これらに対する市の関わりや支援状況を問う。</p> <p>(2) 今後、日本遺産の重要性を理解し、また、その活用策を講じていくためには、多くの声を聴き入れることも必要である。</p> <p>地元で長く住まれているご年配の方、学生や若い世代の方などの発言を聴き大いに反映すべきであると考え</p> <p>る。</p> <p>これらを踏まえて、蒲生の魅力を再発見し、これからの「まちづくり」を語り合う中で、始良市の観光振興に繋ぐという趣旨をもったワークショップの開催について、市の見解を問う。</p> <p>(3) 日本遺産を構成する9つの文化財について、これまでに施してきた個々の整備状況や支援実績と成果を示せ。また、これらの中で、日本遺産認定後に整備や支援があったものを問う。</p>	
4. 竹下 日出志	1. 熱中症対策の推進について	<p>気候変動の影響により、国内の熱中症死亡者数は増加傾向が続いており、自然災害による死亡者数をはるかに上回っている。国は熱中症対策の実行計画で、過去5年平均で年間1000人超となっている死者数を2030年までに半減させる目標を掲げた。そこで以下について問う。</p> <p>(1) 熱中症対応マニュアル等の作成や暑さ指数(WBGT)の認知度向上や熱中症警戒情報発令時の対応をどのように考えるか。</p>	市長 教育長

	<p>2. 高齢者の買い物支援について</p>	<p>(2) 高齢者の熱中症に対する予防への取組について</p> <p>①介護や地域包括支援の関係者との連携をどのように考えるか。</p> <p>②外出が難しい高齢者世帯へのエアコンの点検や整備の推進をどのように考えるか。</p> <p>(3) 保育園・幼稚園・小中学校での、子どもたちの通学時の熱中症対策をどのように考えているか。</p> <p>(4) 熱中症とペットボトルの削減対策として、災害時避難所の公共施設や学校等の教育施設、新庁舎にマイボトル給水機を設置する考えはないか。</p> <p>高齢化が進むにつれ、自ら店舗に足を運んで買い物をすることが難しくなった人が増えている。近隣のスーパーなどが閉店して不便になった人が少なくない。そこで以下について問う。</p> <p>(1) 商品を自宅に届ける宅配サービスや地域を巡回する移動販売カーの運行の推進、また、スーパーなど商業施設への移動の足となるデマンド交通を整備する考えはないか。</p> <p>(2) 本市と介護施設とスーパーなど商業施設が連携し、健康増進と介護予防策として高齢者が安全に安心して外出できる買い物サポート支援を導入する考えはないか。</p>	<p>市長 教育長</p>
	<p>3. 認知症の対策について</p>	<p>わが国では、2025年には65歳以上の5人に1人が認知症になり、大半が85歳以上の高齢者で一人暮らしの割合が増えていくと見込まれている。</p> <p>認知症の対策は、医療・介護をはじめ、まちづくり、教育、生活支援、権利擁護など総合的な施策が求められている。</p> <p>認知症の人や家族が安心して暮らせる</p>	<p>市長 教育長</p>

		共生社会の実現に向けて、認知症に対する理解の促進や認知症サポーターの養成、認知症に関する相談体制の整備など、総合的な対策をどのように考えるか。	
5. 萩原 哲郎	1. サボールランドパーク始良整備等について	<p>サボールランドパーク始良リニューアル工事「健康器具・ベンチ・展望台・西側の階段・手すり・アンツーカー一部・説明サイン4基」も3月に終了し、利用者にとっては喜ばしいことである。</p> <p>しかし、サボールランドパーク始良も造成後26年が経過し、傷みが酷い個所や危険な場所が多く見受けられる。以下について問う。</p> <p>(1) 以前は7個の車止めが設置されバイク等も侵入できなかったが、今回設置した車止めは、バイク等も楽々侵入できるようになっており、車止めの役目を果たしていないと思うが、設置の基準を問う。</p> <p>(2) 公園から展望台へ上がる階段は、階段が壊れ仮のベニヤで固定されたままであり、安定感がなくバランスを崩しやすく危険である。改善計画を問う。</p> <p>(3) 展望台に東屋・西側に階段等が完成し利用しやすくなったと利用者は喜びあふれている。しかし、西側の新しい階段は、階段の上段に手すりが無く危険である。手すり設置の要望が届いていると思うが考えを問う。</p> <p>また、階段を登り切った上段に、フェンスなど転落防止対策や段差の整地、境界線と思われる杭が危険であり撤去が必要と思うが考えを問う。</p> <p>(4) 公園内の階段通行止めから約2年が経過し、現在も通行止めの状態で</p>	市長

	<p>2. 総合運動公園ビーラインスポーツ始良スピードガン設置について</p>	<p>あり大改修が必要とのことであったが、改修計画を問う。</p> <p>また、草スキー止めマット・コンクリート作りの滑り台は、造成後26年が経過し痛みが酷い。改修の計画を問う。</p> <p>(5) 公園内の側溝・通路に赤いポールを置いて3か月経過しており利用者の妨げとなっている。側溝蓋2枚取替えるだけと思うが、他に改修を行う考えなのか。</p> <p>(6) 照陽台34班から西公園に上がる階段中腹で2月末に事故が起きた。再発防止の為、手すり設置の要望をしていたが、未だに連絡もなく手付かずの状態である。事故の重大さをどのように認識しているか考えを示せ。</p> <p>また、地域住民は梅雨時期の豪雨の発生による崩壊が怖いと不安に思っている。公園上の側溝整備・雑木の伐採を要望していたが、その後の状況を示せ。</p> <p>(7) 照陽台34班上の市有地は、以前崩壊した場所でもある。草刈り・側溝整備を要望していたが、その後の状況を示せ。</p> <p>(8) 管理者の勤務体制が変わったと聞く。以前からどのように変わったのか、また、変わった要因は何か示せ。</p> <p>鹿児島県でキャンプする大学・社会人・プロの野球チームによる交流戦「薩摩おいどんカップ」が2～3月に鹿児島・薩摩川内・日置・始良の4会場で開催された。</p> <p>観戦無料で始良市の会場も多くの観戦者が訪れ、子どもたちに夢と感動を与えたと思う。</p>	<p>市長</p>
--	---	--	-----------

	<p>3.九州自動車道高架トンネル・待機場所整備と電柱移設について</p>	<p>観戦者の意見として、総合運動公園ビーラインスポーツ始良野球場に、観戦者に感動を与える、投手の投球スピードを測るスピードガン設置を求める声が多かったが、設置の考えを問う。</p> <p>ドミノ・ピザ始良店付近の九州自動車道高架下トンネルにおいて、イオンタウンの従業員は高速道路の北側にある従業員駐車場に駐車し、職場に向かうため、側溝を含めた幅約120センチのブルーゾーン側を歩行している。</p> <p>イオンタウン駐車場は道路を挟み、両側の土地にある為、反対車線を歩行する歩行者も見受けられる。</p> <p>信号が赤で、車が停車している時に、急いでブルーゾーンに移るが、イオンタウンに向かう為には、またドミノ・ピザ始良店前の横断歩道で信号を待たねばならない状況である。歩行者がいない場合は、車は歩道が無い為、離合しやすい面もある。しかし、歩行者がいると、避ける為に中央に寄るように車は走行する。トンネルの中は暗い為、夜間は厳重な警戒をしながら走行する状況である。</p> <p>2016年3月にイオンタウンが開業して、6年が経過し交通量も多くなった。</p> <p>(1) 6年の期間内に交通量調査を行ったと思うが、調査内容を示せ。</p> <p>(2) 歩行者安全確保のため、歩道専用のボックスカルバート(2メートル)と照明設置が必要と思うがどのような考えか示せ。</p> <p>(3) イオンタウン西側、ドミノ・ピザ前にある電柱は交通の妨げとなっているので移設する考えはないか。</p>	<p>市長</p>
--	---------------------------------------	---	-----------

	<p>4. 県道十三谷重富線の道路整備について</p>	<p>(4) 県立始良高等技術専門校から九州自動車道高架トンネル交差点角の待機場所は、子供たちの通学路になっている。</p> <p>待機場所が狭く、いつ事故が発生するか心配である。待機場所を拡幅する考えはないか問う。</p> <p>始良ニュータウン入口交差点から高速道路までの県道十三谷重富線の平松2723付近の道路は、急勾配でカーブがあり、見通しも悪く、近年交通量も多くなっている。下りの車はスピードが落ちないまま、急なカーブへ侵入することとなり、近隣住民が住宅から道路へ出る際は、大変危険である。</p> <p>平成23年6月定例会（12年経過）で質問をした際の答弁は、引き続き始良・伊佐地域振興局に要望していくということだったが、その後、改善された箇所を問う。</p> <p>また、当該箇所が急カーブである為、湾曲の内側を削る等して、直線道路に変更してほしいと思うが考えを示せ。</p>	<p>市長</p>
<p>6. 森川 和美</p>	<p>1. 単身高齢者対策について</p>	<p>高齢者の長寿化や未婚率上昇などによって、国の推計では2040年、単身世帯は総世帯数の約4割にのぼるとされる。専門家によると、高齢者で一人暮らしが増えるのは、長寿化による高齢者の増加と老親とその子が同居しなくなったことが挙げられる。</p> <p>一方、男性を中心に中高年層で一人暮らしが増加するのは、未婚化の影響が大きいとの見解である。</p> <p>本市の状況も同じと考えるが必要な対策として提言する。</p>	<p>市長</p>

	<p>2. 物価高対策について</p>	<p>(1) 地域で单身者を支える体制づくりが必要であることから自治会やコミュニティ協議会等に手厚い支援をすべきと考えるがどうか。</p> <p>(2) 行政や支援団体などで单身者や身寄りのない人をどのように支えるかについて、ガイドラインを策定する考えはないか。</p> <p>(3) 婚活事業に積極的な予算投入と新婚世帯に祝金支給は考えないか。</p> <p>(4) 市営住宅に新婚世帯を低家賃で入居させてはどうか。</p> <p>(5) 市営住宅に单身者同士シェア制度の検討をしてはどうか。</p> <p>(6) 3世代同居、近居の積極的な推進をすべきではないか。</p> <p>エネルギー価格、物価の高騰対策に対して、独自の支援策が必要と考える。電気、ガス、食料品、日用品及びガソリンなど中心に値上げが止まらない。このような状況にこそ自治体が現状を調査し1年間集中的に物価高騰対策に知恵を絞るべきである。</p> <p>そこで以下の支援策について考えを問う。</p> <p>(1) プレミアム付き商品券の第4弾の発行について</p> <p>(2) 交通運輸事業者への支援について</p> <p>(3) 福祉施設、保育施設等への光熱費支援について</p> <p>(4) 農林業、畜産農家等への肥料、飼料高騰への支援について</p> <p>(5) 中学生への給食費無償化について</p>	<p>市長 教育長</p>
	<p>3. 消防行政について</p>	<p>(1) 消防のトップである消防長の人事が、合併後初代、2代の平成22年3月から平成26年3月迄は一般行政職であり、第3代、4代の平成26年4</p>	<p>市長</p>

	<p>4. 市民の交通手段であるタクシーについて</p>	<p>月から平成31年3月迄は消防職からの生え抜き登用であった。しかし、第5代、6代と一般行政職に戻った。人事権は市長の専権事項ではあるが、可能な限り内部登用が適切と考える。消防職員全体の士気を高める為にも大事だと考えるが、今後の考え方を問う。</p> <p>(2) 消防団員確保が厳しい時代になり本市も定数に達していない分団があると思うが、現状と今後団員確保について事業所等との協力体制や処遇改善等を検討すべきではないか。</p> <p>(3) 総務省消防庁の企業向けパンフレットには、全消防団員の約7割が被雇用者という状況がわかった。消防団協力事業所への支援を本市はどのように行っているか。</p> <p>(1) 市民、特に高齢者や障がい者の買い物、そして病院への交通手段であるタクシー事業者が5月で閉社となり、市民に不安と不便が生じていると感じるが、この状況に対して本市の見解を問う。</p> <p>また、業界の直面している課題等について協議し、何らかの対策を講じるべきと考えるが、見解を問う。</p> <p>(2) 海外で広く浸透している自動車を相乗りするライドシェアについての見解と、国に対して道路運送法第78条の改正等を求めていく考えはないか。</p>	<p>市長</p>
--	------------------------------	--	-----------